

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

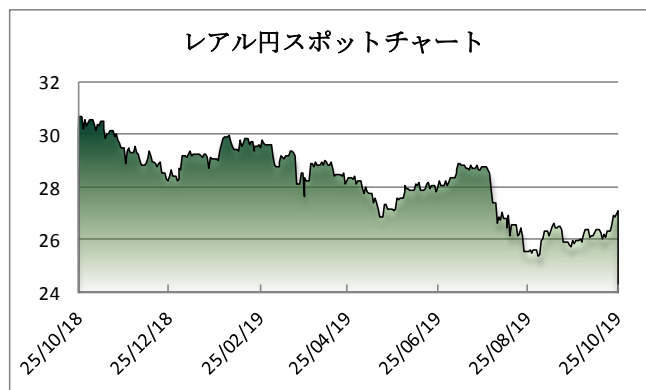
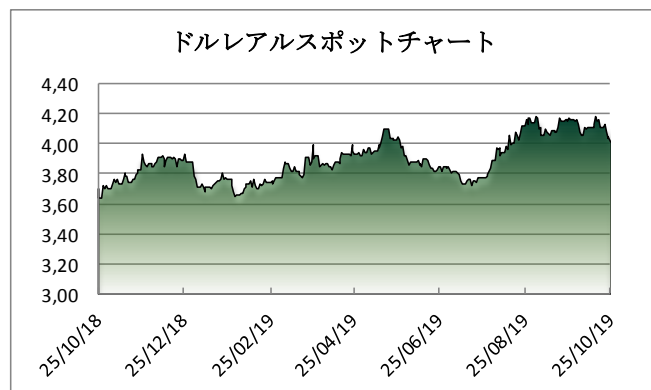
マーケットサマリー

先週末のドルレアルは、年金改革法案承認後のブラジルに対する楽観的見方が広がり、一時心理的水準の4.00レアルを切る水準までレアル高が進行した。金利市場では既に今週のCOPOMを意識した取引が始まっており、0.50%~0.75%の利下げを織り込んでいる状況。12月の利下げは0.25%~0.50%の間で取引されており、物価水準がインフレ目標の中心より下回っていることを意識しており、先々はSelicレートが4.5%を下回るかどうかに焦点が置かれている。ボブスバ指数は前日の利益確定売りに伴う下落から反転し、日中は108,000ポイントを一時越える展開。ペトロブラスの第3Qの業績が原油価格の下落にも関わらず生産が好調だったことに加え、米中の通商協議にて、ホワイトハウスが進展を示唆したことが背景となっている。ライトハイザー米国通商代表部代表とムニューシン財務長官が、中国の劉鶴副首相と電話会議した結果、「全ての問題が解決したわけではないが、特定の項目で進展があり、米中双方は通商合意の一部事項で仕上げに近づいている」と説明。トランプ大統領も記者団に対し「中国と非常に上手くやっている、中国は取引を切望している」と述べており、今後も協議の進展に注目が集まる。日曜日開票のアルゼンチン大統領選挙は、野党候補のフェルナンデス氏が現職のマクリ氏に勝利し、経済低迷のなか左派ポピュリズムへと舵を切ることになった（開票率95%の段階で、フェルナンデス氏48%、マクリ氏40%）。両候補の得票率の差は、8月予備選の16ポイントから縮小し、フェルナンデス氏の経済立て直しの手腕への懸念が存在していることを示唆した。新大統領は12月10日に就任予定だが、資金不足によるデフォルトへの懸念が残っており早々に困難に直面する見通しとなっている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	10月24日	10月25日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	4,0429	4,0031	-0,98%	-3,49%	3,6374	4,1945
	対円	JPY	26,87	27,12	0,93%	4,39%	30,08	25,22
	対ユーロ	BRL	4,4901	4,4394	-1,13%	-2,22%	4,1646	4,6539
円	対ドル	JPY	108,61	108,67	0,06%	0,84%	104,46	112,40
	対ユーロ	JPY	120,62	120,41	-0,17%	2,10%	115,87	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	106.986	107.364	0,35%	2,76%	108.083	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	123,10	119,41	-3,00%	-12,04%	209,52	117,88
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	6,62	6,54	-1,21%	-7,73%	9,34	6,52
DI Future Jan20 (金利先物)		%	4,82	4,78	-0,75%	-6,18%	6,69	4,78
3 Months US Dollar Libor		%	1,93563	1,92813	-0,39%	-8,17%	2,8039	1,9281
CRB Index (国際商品指数)		Index	177,71	178,37	0,37%	0,98%	189,68	167,38

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。